

令和6年 飯田市教育委員会4月定例会会議録

令和6年4月11日（木） 午後 3時00分開会

【出席委員】

教育長	熊谷 邦千加
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	三浦 弥生
教育委員	野澤 稔弘
教育委員	林 綾子

【出席職員】

教育次長	秦野 高彦
学校教育課長	福澤 好晃
学校教育専門幹	北澤 孝郎
生涯学習・スポーツ課長	後藤 武志
文化財保護活用課長兼考古博物館長	下平 博行
市公民館副館長	上沼 昭彦
文化会館館長兼新文化課会館整備室長	筒井 文彦
中央図書館長	瀧本 明子
美術博物館副館長	槇村 洋介
歴史研究所副所長	牧内 功
学校教育課長補佐兼総務係長	松下 弘毅

日程第1 開 会

○教育長（熊谷邦千加） 予定の3時になりました。日程第1、「開会」。それでは、令和6年4月定例会を始めます。よろしくお願いします。

日程第2 会期の決定

○教育長（熊谷邦千加） 日程の第2、「会期の決定」。4月定例会の会期を本日1日といたしますが、よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（熊谷邦千加） 日程第3、「会議録署名委員の指名」。本日は北澤正光職務代理者をお願いをいたします。

◇教育長職務代理者（北澤正光） はい。

○教育長（熊谷邦千加） よろしくお願いします。

日程第4 会議録の承認

○教育長（熊谷邦千加） 日程の第4、「会議録の承認」。3月定例会の会議録をご覧ください。何かご意見がありましたらお願いいたします。

（「特にございません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ご承認いただきましたので、ありがとうございました。

日程第5 教育長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 日程の第5、「教育長報告事項」。

別紙をご覧いただきたいと思います。

ちょっと写真を入れたのでカラー印刷になっておりますけれども。

先月の24日に高校生講座で「東北スタディツアー」の報告会がございました。今回は飯田女子高校一年生5名の皆さんの発表でした。

非常に印象に残る言葉がいくつかありました。それは東北大震災の地域復興のために力を尽くしている方々の言葉でした。こちらもお聞きしていて非常に共感する言葉をちょっ

とそこに3つほど並べてみました。また、子どもたち高校生の皆さんは、飯田を見る目、そして自分を見る目、そういった眼差しが深まったようにも感じたところであります。

2つ目は、この3月末でご退任になった滝沢具幸美術博物館前館長さんのアーティストトークというのがございまして、その後、退任式というのを行いましたので、その様子をそこに綴ってございます。

滝沢館長さんは、穏やかな雰囲気の方なんですけども、絵は非常に年代に沿って変化があり、その中に秘めたる芸術性の高さといえますか、そういったものを感じました。ちょうど伊澤元教育長さんと高校生の時代から同年ということで、そのころの話を井沢さんからお聞きすると、絵のうまさは別格で、もう当時から自然とか土、植物、そういったものに常に関心を持っていたらっしゃったということでした。

18年間お務めになられたことの御礼を申し上げます。この滝沢館長さんの作品展示は5月26日まで行われるということでございます。

3つ目は、黒田人形奉納上演がありました。黒田人形座の中には、高陵中学校人形劇部から高校生になって、人形座に入ったというような若いメンバーが入っていて、大変頼もしいなということを感じました。高陵中学校の黒田人形劇部の皆さんは、「傾城阿波の鳴門巡礼歌の段」の披露に一生懸命取り組んでいて、地域の皆さんが投げ銭で励ましている様子が伝わってまいりました。

4つ目は裏面になりますけれども、ピアノ三重奏の世界という演奏会がありました。長年にわたって名古屋フィルハーモニーのコンサートマスターの日比さんがご退任され、その日比さんを中心としたすばらしい三重奏でした。アフィニス音楽祭というのを昔やっていたわけですが、そこでの講師と受講者、また聴講者っていう3人の関係が元となっていてとお聞きしました。非常に素晴らしいハーモニーだったなと思います。

最後に、市内の高校の入学式に飯田風越高校、それから、さくら国際高校、飯田女子高校、今日は女子高校の通信制の入学式にも呼んでいただきました。いずれも新入生代表の皆さんの決意表明等が大変立派だったなあという感想を持っております。

私からの報告は以上でございます。

何か質問、ご意見がありましたら。よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) はい、ありがとうございます。

日程第6 議案審議（1件）

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして日程の第6、「議案審議」。本日は1件の議案がございます。

議案第29号 学校運営協議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） それでは議案第29号、「学校運営協議会委員の任命について」。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それでは、議案第29号、学校運営協議会委員の任命についてお願いいたします。

3ページになります。こちらは、令和6年度学校運営協議会委員の委員として、各学校長から推薦がございましたので、飯田市学校運営協議会規則第7条第1項の規定により、任命したくご提案を申し上げます。

各学校運営協議会委員は、記載の一覧のとおりでございます。3ページから5ページにかけてになります。

小中学校は、市内全部で28校でございますが、学校運営協議会は3ページ、一番上の丸山小学校と西中学校、それからおめくりいただきまして4ページ中段の鼎小学校と鼎中学校で、それぞれ一つの学校運営協議会となっておりますので、全部で26の学校運営協議会となります。

規則では、特に委員人数の規定はございませんので、各学校ごとに委員の数は違っておりまして、左側の学校名下に括弧書きで記載してある人数になっております。一番少ないところでは和田小学校の11人、4ページ目です。多いところでは、竜東中学校の26人となっております。全体では延べ397人となっております、平均約15人ほどということになります。そのうち女性が116人で女性の比率は29.2%という状況でございます。それから再任・新任の別ですが、再任が276人、約69.5%といった状況でございます。

任期につきましては、同規則第9条第1項の規定で1年間となります。

説明は以上になります。よろしくお願いいたします

○教育長（熊谷邦千加） はい、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ご異議ございませんか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。ご承認をいただきました。

日程第7 協議事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、日程の第7「協議事項」。本日の協議事項はございません。

日程第8 陳情審議

○教育長（熊谷邦千加） 日程の第8、「陳情審議」。本日の陳情審議もございません。

日程第9 その他

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして日程第9、「その他」。

（1）教育委員報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 「教育委員報告事項」。

教育委員の皆さんで報告いただけることがありましたら、挙手でご発言いただければと思います。

林教育委員さんからお願いします。

◇教育委員（林 綾子） 先月もご報告があったかと思いますが、その後に行かせていただきましたので報告いたします。

3月18日に山本小学校の卒業式、それから4月4日に座光寺小学校の入学式に出席させていただきました。今年、自分の子も含めると5回、卒業式・入学式に出席させていただきました。

どの学校も大変厳かに、また、温かい雰囲気で行われていたかなと思います。教育長が以前、「1年で一番大切な日だと思います」ということをおっしゃっていたと思うんですけれども、そういうことが大変、体感できるような各学校の式だったなと思っております。

特に山本小の卒業式では、卒業生の一人一人のお子さんが一礼、先生たちがいらっしゃる席に対して一礼して、そこから壇上に上がっていくということで、その一番前の特等席に座らせていただいて、一人一人表情が大変よく見える席で拝見しました。みんなすごく真剣で、緊張した面持ちで、知っているお子さんではないんですけれども、きちんとした服装で一礼していく姿に、お子さんの成長というのをすごく強く感じる場面でありました。

大変貴重な機会に行かせていただきました。ありがとうございました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） 野澤教育委員さん、お願いします。

◇教育委員（野澤稔弘） 私も同様に4月4日の日に高陵中学校の入学式に出席いたしました。

新入生の代表の方のあいさつが非常に朗々としてすがすがしくて、自分の中学校のときこんなだったかなと思いながら、すごく聞いていて気持ちがビシッと引き締まる思いをしたので、やっぱりかなり気合が入っているなっていうふうに思ったんですけど、そういう新鮮な気持ちっていうのを久しぶりに味わわせていただいて、ちょっとよんだ普段の生活を見直さなきゃいけないなというふうに感じました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

じゃあ、三浦委員さん、お願いします。

◇教育委員（三浦弥生） お願いいたします。

私も4月4日の日に入学式に行かせていただきました。

感想としてはまとめますと2つ。1つは、今回、きちんと主催者側というように席をいただきまして、立ち位置が明確にさせていただきましたので、そんな中で告辞も行いましたし、また来賓の方たちにもごあいさつ、そんな立場ですることができて良かったかなと、そのように思います。

2つ目は、行かせていただいたのが松尾小学校と緑ヶ丘中学校ということで、自分の母校になります。もう校舎が新しくなってしまっただけで校舎も違いますし、もちろんいらっしゃる子どもさんたちも世代が全然違うわけですけども、校歌となりますと自分も口ずさむことがもちろんできまして、「ああ、自分もこういったところに帰属といいますか、集団の中で育ててもらってたんだなあ」というようなところを感じる、そんな機会にもなりました。「地域でいろいろ育ててもらってたんだな」なんて思うときに、自分のときもそうだった。そして今、教育委員になって小中連携・一貫というような形のものを見せていただいたり、またはコミュニティスクールというようなところを見せていただいたりという中で、今後また9つの学園構想の検討というところもある。そうすると、こういった自分の小さいときから育まれたそんなときから、こういった地域で子どもたちを育てていこうっていう、やはり土壌がこの地域にはあるのかな、なんていうことも少し感じるところもありまして、入学式へ出席させていただきました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

北澤職務代理、お願いします。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 2点になります。1点は、4月1日の校長着任式の後、天龍村の天龍小学校・中学校の併設記念式典に行かせていただきました。

今年の小学生が24人で中学生が8人というように聞いてきました。32人のお子さんたちのスタートということですが、天龍小学校の校舎を改修し、それから中学校で使う特別教室を新築してという校舎の整い方でした。さっき学校の在り方についての一次答申があったところですが、かかった費用が6億6,000万円くらいだそうです。人口千人の村で、しかも65歳以上が65%という高齢化率も県内ではかなり上位の村で、32人のお子さんたちのために6億6,000万円をかけるという。村長さんのお言葉に、「将来において間違いのない選択をしたと言われる、そういう学校にしたい」という決意を式辞の中で述べられていました。子どもの数が多い、少ないは別にして、学校に寄せる村の皆さんの思い、未来にかける思いは、「こんなふうに重いんだな」と思いました。改めて飯田市に引き寄せたときに飯田市も待たなくなっていく状況がある。一步先にそうやって頑張っている村の様子を見て、私たちも気持ちを引き締めて学校のあり方について考えていかないといけないし、具体的な形にしていけないと感じて帰ってきました。

それからもう1点は、今、入学式の話がありまして、私も旭ヶ丘中と伊賀良小に行かせていただきました。

どちらも落ち着いて、しかも人数が多い学校でしたけれども、さっき林委員からもありました厳かな、子どもたちの真剣な姿がとても心に残りました。

旭中は転入職員が17人、それから伊賀良小は23人。子どもたちも先生方も3分の1ぐらいは入れ替わるので、改めてこの新年度のスタートにあたって、去年までこういうようにやってきて分かっていることだからというところからスタートをすると、結局、3分の1の皆さんは分からない状態で、新しい環境に入っているということになる。私たちも基本に帰って、分かっているつもりのことでも改めてきちっと説明をして、飯田市の教育の方向について理解をしてもらって、みんなの足並みを揃えて進んでいくようなところを、特に大事にしたいと思いました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） それぞれのご報告について、ご質問等ございますか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

やはり卒業・入学大事な節目でありましたので、私も行かせていただきましたけど、身の引き締まるといいますか、別れは悲しいですけども、また出会いは期待と夢と希望とい

うところがあるなと思いました。ありがとうございました。

(2) 教育次長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では続きまして、(2)の「教育次長報告事項」。

◎教育次長（秦野高彦） ございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(3) 学校教育課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、(3)「学校教育課関係報告事項」。

北澤学校教育専門幹。

◎学校教育専門幹（北澤孝郎） それではよろしく願いいたします。

お手元の資料の6ページをご覧ください。「令和6年度飯田市校長会・教頭会への依頼委員と校長会主導委員会・教頭会プロジェクトの組織図」に関することでございます。

6ページなのですが、毎年、このようなことでお願いをしてきております。今年度につきましては、校長会ですが19番、飯田市これからの学校のあり方審議会委員として、最初から明記し位置付けて人選していただいております。

教頭会につきましては、プロジェクト例年5つほどのプロジェクトで、自主的にこのテーマに沿って調査研究を進めておりますが、今年度、②番、キャリア教育というところに「小中連携・一貫教育」という言葉も添えまして、今後の飯田市の学校教育のあり方に展開できるように、プロジェクトをしていただけるように考えております。

なお、7ページにつきましては、委員さんの案ということで、今のところこのように上ってきております。実際の状況に応じて、微修正しながら進めていきたいと思っております。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） 続いてもう一つの学校支援についてもお願いします。

◎学校教育専門幹（北澤孝郎） では、引き続いてお願いいたします。

今度は8ページになります。「飯田市派遣指導主事の学校支援」についてです。

今年度も飯田市派遣の指導主事が3名、教育指導専門主査という役職名で3名配置されております。学校訪問をしながら学校の必要感に寄り添って支援ができればと考えております。現場からお気軽に声をかけていただいて訪問要請をしていただければと思います。また、場合によりましては、こちらから声をかけさせていただき、授業の様子を参観させ

ていただくっていう場合にも考えられます。

9 ページのところに、今年度担当します職員、顔写真入りで載させていただいております。左の榊原研太専門主査、それと右の及川 崇専門主査が今年度からお世話になっている者でございます。真ん中の木下専門主査は、チーム主任として動いていただくというそんな予定であります。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） 引き続きウ・エ・オもお願いします。

◎学校教育専門幹（北澤孝郎） わかりました。

そうしましたら、今度は10 ページへ進んでください。「令和6年度飯田市外国語教育推進の取組」についてでございます。

飯田市の外国語教育の目標としましては、「外国語で考えや気持ちを伝え合うことのできる児童生徒の育成」であります。この目標達成のための3つの窓としましては、まず「個別最適な学びの充実」、2つ目として「対話的で深い学びの充実」、あと「研修・学習の場の充実」とこの3つの窓を設けまして、令和6年度の重点としましては、「学習者用デジタル教科書を活用したセルフラーニングタイムの充実」、2つ目として「言語活動の質の向上にむけたC a n d o リストの活用」、3つ目として「G o o g l e チャットを活用した職員間の実践共有」と考えております。

11 ページの中段にただいまの重点の3つにつきまして、それぞれ記載をさせていただいております。

なお、(3) 番の職員間の実践共有、研修に関わる場所ですが、今年度も各校外国語担当で外国語教育推進委員会を組織し、情報交換の場を設置していきたいと思っております。また、それ以外には、G o o g l e チャットを活用して日常的な情報交換・情報共有をできるようにしてまいりたいと思います。

それでは、続きましてお願いしたいと思います。13 ページへお進みください。

「学習における I C T の活用」でございます。

基本方針としましては、教育ビジョンがありまして、重点目標としましてはそこにありますとおりです。これらの目標達成に向けた I C T の有効活用としましては、1つ目、「協働的な学び」、2つ目、「個別最適な学び」、そして「探究的な学び」ということで、これらに有効活用できるように働きかけをしていく予定です。

13 ページの下辺りに少し書かせていただいておりますが、2024 年度よりデジタル教科書の本格導入が進んでまいります。今後は、大学入試を含めた各種試験のこの活用というこ

とが考えられますので、さらに上手に学習に活用できるように進めていく予定です。

14 ページへ進んでください。

先ほどの目標に向けた有効活用にも関わるのですが、今年度の学習における I C T 活用の取り組みの目標としましては、「考えを広げ、深める対話的な学びを目指した活用の推進」ということで、「協働的な学び・個別最適な学びでの活用」と「自律的な学びでの活用」、あと「情報活用能力の向上」というところで、これらを推進してまいりたいと思います。

15 ページへ進んでください。

そのために「飯田市学習における I C T 活用推進委員」というものを組織しまして、構成メンバー等はそこにありますとおりです。年 4 回の委員活動。続いて「情報モラル教育推進委員会」、さらに「I C T 活用中核教員研修」、中核教員というのは各学校から 1 名ずつ互選されておりますので、その教員を中心にさらに研修を深めていきたいと思っております。

デジタル教科書についてですが、15 ページの下に（6）番、デジタル教科書という部分がございます。普及促進事業ということで、飯田市では小学校五年生から中学校三年生を対象に整備を進めております。

これにつきましては、以上でございます。

続いて、特別支援教育に関わるところでございます。17 ページからになります。

「令和 6 年度全ての学校・教職員による特別支援教育の推進に向けて」というところがあります。

特別支援教育の現状ですが、市内児童生徒数は減少傾向にあるものの、特別支援教育対象となる児童生徒は増加傾向にあり、通常学級における特別支援教育の重要性も高まってきております。本年度の重点としましては、「通級指導教室、例えば L D 等通級指導、あとことば等での学びを生かす通常学級での支援の充実」、2 つ目として、「個別の教育支援計画、あと個別の指導計画を効果的に活用した連続した支援の実現」、もう一つは、「通常学級における特別支援教育の充実」、具体的には合理的配慮の提供であったり、特別支援教育支援員との連携になります。

18 ページに進んでいただきたいと思います。

その実現に向けて具体的な研修会であったり、連絡会を進めていく予定でおります。なお 18 ページの下に「（5）番ビーイングには」ということで括弧が少し長くなっておりますが、今週中にこの南信教育事務所飯田事務所の方が派遣されますが、今週中に確定するというので話を聞いております。

続いてあわせまして 19 ページへ行きたいと思います。

「『副学籍』による交流及び共同学習の推進について」です。

「副学籍」による交流及び共同学習の目的としましては、特別支援学校に在籍する児童生徒が社会で自立できる自信と力を育むとともに、居住する地域との関係をより深める、副学籍校の児童生徒は特別支援学校の児童生徒とともに学ぶことにより、障がい者への理解を深め、心のバリアフリーを進めるということであります。

令和 6 年度の飯田養護学校及び花田養護学校在籍児童における利用予定状況ですが、中段にありますとおりでございます。

19 ページの下に課題が少しありますが、ポツ 2 つ目、「交流学級担当の先生によって理解に差があるという保護者の声」、さらに「学校全体や保護者にも理解が進むように取り組んでいけるとよい」というような声が挙がっております。副学籍生徒のいる学校によっても様子は異なると思いますが、より理解が進み、心のバリアフリーを進めたいと思います。

それでは、22 ページに進んでください。

「LD 等通級指導教室について」です。

通級指導教室の目的につきましては、発達障がい等による学びにくさや対人関係での困難さを改善・克服するために、継続的で効果的な特別指導、個別指導やグループ学習を行うことにより、在籍する通常学級での学びや生活をより良いものにすることを目的としております。

このような学級の対象になるお子さんとしましては、通常学級には在籍しており、通常の学級での授業におおむね参加できますが、発達障がい等に原因を持つ学びにくさの改善、そして克服のための特別な指導を必要とする児童生徒としております。具体的には、自閉症スペクトラム症・注意欠陥多動性障害・学習障害・情緒障害等でございます。

これにつきましては、今まで設置されておる学校で十分ご指導はされているといっております。

なお、具体的な学校での設置の状況等につきましては、23 ページ以降に詳しく記載されております。今年度、このような体制で進めてまいりたいと思っております。

雑駁ではございますが、説明は以上とさせていただきます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、件数が多かったですので、ちょっとここでご質問、ご意見がありましたらお出しいただきたいと思います。

字が細かくて多いので、十分理解するにはこの時間では難しいかなと思います。素朴な疑問でも結構です。

はい。

◇教育委員（林 綾子） 質問なのですが、この外国語教育のところで、「セルフラーニングタイムの取組」というのを書いてありまして、これは以前からされているのかなあというところが1点と、セルフラーニングとあるので自分で取り組むということかなと思いますが、授業の中で取り組む、そういう時間帯を設けるという理解でいいのでしょうか。ちょっとこういうのはどういうふうにやっているのか具体的にちょっと見てみたいなあという感じですけども。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） いいですか。私が答えますか。

デジタル教科書は、英語と国語が使えるようになっているんですけど、英語の教科書の良さはA L Tの先生がいなくても英語の先生がいなくても音読を聞けるわけです。今までって英語の授業っていう思い出していただくと、先生が「Are you ready?」と言ったらなんだけど、それをみんなで復唱する授業だったと思うんですけど、それはタブレットがありますと、自分自身の必要度に応じて自分で勉強できる。ここがうまく読めなければ繰り返し練習できる、自分の進度や自分の理解によって音読練習が個々にできる、そういう時間を確保するっていうこと。

昨年度ちょっと試みでいくつかやりまして、それは非常に効果があると。一斉音読練習しているよりは個別にタブレットに向かって練習したことによって伸びが見えるということが昨年度見えてきました。それを各学級の授業でも英語の授業で取り組んでいただこうということです。

◇教育委員（林 綾子） 一斉授業の部分とは別でその時間を。

○教育長（熊谷邦千加） そうですね。一斉授業の中で。

◇教育委員（林 綾子） 中で、「じゃあ、これからする。そういうふうにやりますよ」みたいな時間を設ける。

○教育長（熊谷邦千加） そうですね。個別最適な学びを目指して個別に自分のニーズに合った練習をするという時間を確保するということです。

◇教育委員（林 綾子） 分かりました。ありがとうございます。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 去年の説明では、1時間の中で10分程度をこのセルフラーニングの時間に充てると効果が認められたというような報告をされていた記憶があるんですけど。

今年が始まって、これから実践していく中でいろんな課題が見えてくるということです

けれど、昨年、教室訪問で見させてもらった中では、その時間は「セルフ」だからタブレットと個人に任せるのは当たり前ではあるけれど、個々に力量の差があるので、自分で取り組めるお子さんはこれで伸びる力はどんどん伸ばしてほしいのですが、指導される先生はある程度の実態は分かっているわけなので、それだけではつまづいてしまっているお子さんのところに注力してほしい。直截な言葉ですがその 10 分を先生が暇な時間にしないようにしてほしいなど。子どもが個々で自分で学んでいるときに、あの子とあの子のところは先生が行って、ほかの子が自力で進められているので手がかからないわけだから、この子とこの子のところは逆にうんと個別に指導する。それも個別最適の一つだと思うのです。「セルフ」という言葉にとらわれているのも、一斉指導の弊害と同じことになるという思いを持ちながらこの項目を聞いていました。今年はぜひそれをお願いしていきたいというふうに思っています。

◇教育委員（林 綾子） ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） 学力的に上位の子と中位の子、低位の子っていうと、上位の子はそんなにこれをやっても変わらないんですが、中・低の子が伸びたという昨年度の検証結果を発表しております。

◇教育委員（林 綾子） いくつも聞いて、すみません。

○教育長（熊谷邦千加） いいです、いいです。質問いただくことで深まりますので。

◇教育委員（林 綾子） はい、ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

さらにございますか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

（４）生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（４）「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」。

後藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（後藤武志） それでは資料の 26 ページをお開きください。「飯田市スポーツ推進計画策定に伴います運動スポーツに関するアンケート調査の実施について」でございます。

このアンケート調査でございますが、飯田市スポーツ推進計画を基に各種施策を展開しているわけですが、この計画の令和 6 年度は最終年度となることから、次期第 3 次

改訂版を策定するにあたりまして、市民の皆さんの運動やスポーツに関する実態や意識を把握して施策に反映するために行うものでございます。

このアンケート調査でございますが、市内に住んでおられます 18 歳から 79 歳までの男女 2,000 人を対象といたしまして、無作為抽出で行うものでございます。現在の予定は調査をこの 4 月の下旬から 5 月の中旬にかけて実施をさせていただき、今年の 7 月までに集計を終えたいというふうに予定をしているところでございます。

基本的にはこのアンケート項目につきましては、市民の皆さんが日常的にスポーツ活動への定着を図っていくための機会を提供したり、スポーツ施設の整備の方向性を探るために、現在の市民の皆さんの実施状況や施設の利用状況を把握することを目的として行うものでございます。また、スポーツ庁や県の調査も意識調査をやっていることから、それと同じ項目を設定させていただきまして、全国的な動向や県の動向と比較ができるような、そんなことも予定をしておるところでございます。

具体的なアンケート項目でございますが、資料の 27 ページから 32 ページにあるとおりでございますが、こちらの項目の内容につきましては、条例設置のスポーツ推進審議会で検討をしていただいた上でこのアンケート項目を決定させていただいて、今回実施するものでございます。

この後のスケジュールでございますが、先ほども申し上げましたとおり、この後アンケートをとらせていただきまして、7 月のスポーツ推進審議会にその結果を報告できるように進めてまいりたいというふうに予定しております。

私からは、説明は以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加）　いくつかまとめてご質問をいただきますので。

（５）文化財保護活用課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加）　（５）「文化財保護活用課関係報告事項」。

○文化財保護活用課長（下平博行）　特にございません。

○教育長（熊谷邦千加）　はい。

（６）公民館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加）　（６）「公民館関係報告事項」。

上沼公民館副館長。

◎市公民館副館長（上沼昭彦）　それでは資料 33 ページ、資料 No. 7、「令和 6 年度飯田市の公民館

活動基本方針・事業計画」について、作成等いたしましたので、その概要を説明させていただきます。

この基本方針・事業計画ですが、公民館運営の基本的な考え方、方針でございまして、「公民館運営の四原則」、これは「地域中心」、「並立配置」、「住民参画」、「機関自立」の4つの原則からなるものでございますが、この方針の下、全ての公民館がこの方針に基づきながら事業等を進めていくため、毎年作成をしているものでございます。

1番、「基本方針とは」ですが、こちらはこの方針の作成の趣旨等を記載してございます。

2番、「飯田市の公民館の目的と役割」でございます。公民館の目的ですが、地域住民とともに誇りと愛着を持って住み続けられる地域を目指し、その担い手を育むことを目的とする旨、記載してございます。また、この目的を達成するため、公民館は社会教育法に基づく教育機関と、地域の自治組織の構成団体という特性も生かしながら「みつける、つながる、育てる、実現する場」として機能し、地域に着目した学習と交流を深める役割を担っている旨、記載してございます。下の図は、その公民館の役割を示したイメージ図となります。

1枚めくっていただいて34ページをお願いいたします。

3番、「主体的な公民館活動の展開にむけて」でございます。

公民館の役割である学習交流活動の充実に向けて、主体的な公民館活動を展開するために、ここに記されているような様々な実践の場をつくっていくということ。そして地域の住民同士がつながりを大切にした活動を展開する。そのために、具体的にここに書いてある3つの取組、地域課題や生活課題の解決に向けた学習活動や、住民ニーズに応える学級講座を開催し、学びの土壌を耕していくこと。専門委員会の活動については、地域を素材に学習と交流を促進する事業を、委員会の主体性を大事にしながら企画運営をしていくこと。また、住民同士の触れ合いや主体性を大切にした文化活動に取り組んでいく理念を記載してございます。

4番、「令和6年度における重点目標及び事業計画」でございます。

今年度、公民館の重点とする目標ですが、昨年度は多くの公民館で事業等が再開され、改めて地域住民が顔を合わせ、つながっていくことの大切さを再認識することになったんですが、公民館活動におけるみんなが「愉しむ」ための活動と、その過程にある学びの要素を大切にしながら、公民館における学びの場を広げていくと。そして「私たちの地域は私たちの手でつくる」自主自立の精神や当事者意識を持って協力し合い、「結い」の心で考え行動できる担い手を育むことができるよう、一つ一つの事業を着実に推進していくこと

を今年度の重点とする目標として掲げております。

また、この重点とする目標に対する取り組みの柱といたしまして、仲間と一緒にって地域づくりを考える多様な担い手を育むために、ここに記載されているような、例えば地域のことを共に考えられる小さな集団・仲間づくりの場などをつくっていくこと。そして「他人ごと」から「自分ごと」へ主体的に考え行動できる人材を育成するために、学習と交流を通じた自治の意識の醸成を図っていく、そういった取組を進めていく旨を記載してございます。

以降、公民館の事業計画といたしまして、全公民館で取り組んでいく事業、地区公民館と市公民館との合同による事業、飯田市公民館として取り組む事業等を記載してございます。時間の関係で説明は割愛させていただきますが、またお時間がある際にお読みいただければ幸いです。

なお、本日、委員の皆さんのお手元に、令和5年度の飯田市公民館の活動記録を配布させていただきました。令和5年度の各公民館の事業について概要が記載されております。各館で様々な事業・取組を展開しておりますので、そちらにつきましてもまたお時間のあ
る際、お読みいただければ幸いです。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、もう少し続けてまいりたいと思います。

（7）文化会館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （7）「文化会館関係報告事項」。

筒井館長。

◎文化会館館長兼新文化会館整備室長（筒井文彦） 文化会館と4月から新しく新文化会館整備室というものができまして、私、館長と室長を兼ねておりますので併せて報告をさせていただきます。

委員の皆様のお手元に、新しい文化会館の整備に関する基本構想の概要版と本編をお配りいたしております。このものができたということで、本日お配りをさせていただいております。

概要版に書いてありますけれども、基本理念といたしまして、「みんなが集い、創り、伝える、感動の飯田ひろば」ということで基本理念がまとまりまして、5つの基本方針として「集う」「観る」「創る」「伝える」「育む」という方針に基づいた方向性というものが書かれております。

この基本構想に至るまでの経過でありますけれども、これまでの教育委員会で様々なご

意見をいただきまして、そういったことも反映をさせていただいております。改めてお礼を申し上げたいと思います。

なお、この基本構想に関しましては、議会ですとか2月のパブリックコメントで素案に関してご意見をいただき、今回3月で成案になったということで、3月28日の日に、整備検討委員会で報告をさせていただいたものになっております。

また、あわせて、本日「toi toi toi!」という情報誌を皆様のお手元にお配りしておりますけれども、これはこれまでの整備検討委員会、または文化会館の議論いただく皆さんから「飯田の舞台芸術の活動をもう少し皆さん知っていただく広報も強化してほしい」というご意見や「新文化会館に向けての取組を市民の皆さんに分かりやすく伝えてほしい」ということで、情報誌を昨年度から発行しておるものでありまして、令和5年度の内容につきましても、一番最後のページに併せて載せてあるということで、こういった広報誌を含めて、今後も広報活動に努めていきたいというものであります。

基本構想については以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、これも内容の濃いものが3つ続いておりますので、ここでご質問、ご意見等ございましたらお出しいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

また、具体的なところはまた今後もさらに出てまいりますので、そちらでご意見いただく機会もあるかとは思います。よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） 時間が十分に取れずに申し訳ございません。

（8）図書館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） じゃあ、続きまして（8）へまいります。「図書館関係報告事項」。

瀧本中央図書館館長。

◎中央図書館長（瀧本明子） 図書館から2点お願いいたします。

別紙でお配りいたしました水色のチラシをご覧ください。

中央図書館ですけれども、中央図書館は大正4年に公立図書館として開館しまして、令和7年、来年開館期間110周年を迎えます。その110周年あたりまして、110年の歴史を振り返るとともに、この機会により多くの方に図書館を使っていただいたり、読書の裾野を広げるために市民の皆さんに企画から関わっていただいて、記念の行事を行いたいと考えております。

4月21日に「図書館カフェ」という名前を付けさせていただきまして、110周年にあた

ってやってみたいことを出し合う会を行います。今後、およそ1カ月に一度、会を行いまして、令和7年度に事業の実施を行えるように取り組んでいく予定でございます。

裏面をご覧ください。「こどもの読書週間」の取組をご報告いたします。

今月4月23日から5月12日が全国の「こどもの読書週間」になっております。中央図書館・県図書館・上郷図書館では、こちらのチラシに記載がございますように、「おはなしぼうけんたい、コロポン」という取組を行いまして、対象年齢別のお薦め本を継続して読んでもらうための取組を行います。右下に絵があるように、段ボールで手づくりのガチャガチャのような機械をつくりまして、年齢別のボタンがありまして、そのボタンを押すとコロコロとお薦めの本の名前を書いたものが出てきて、子どもたちにはその本を借りていただくという仕組みになっているものです。これをすることによって、普段、自分ではなかなか手に取らない、その年代の子どもに読んでもらいたい本を借りていただくということができております。

この取組を5月23日まで行う予定です。また、各地区にあります分館でもそれぞれ「こどもの読書週間」の取組を行って、子どもたちが本に親しめるように取り組んでいく予定でおります。

説明は以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

（9）美術博物館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では続きまして、（9）「美術博物館関係報告事項」。

榎村美術博物館副館長。

◎美術博物館副館長（榎村洋介） 美術博物館・飯田市考古博物館からご案内をお渡ししております。

美術博物館では、滝沢前館長の退館記念展を今、開催中でございます。これに合わせまして5月10日には美術鑑賞の会にて、滝沢前館長にお越しいただきまして、お話をさせていただきます。また裏面ですが、5月25日、「滝沢具幸さんとの対談」ということで、野地耕一郎さんと一緒に対談をしていただくようになっております。

それから表面の下ですが、5月18日「国際博物館の日」という日でございまして、この日は美術博物館の展示が無料でご覧いただけるというようになっております。それから今年は、美術博物館は、小中高生が無料ということになっておりまして、多くの子どもたちの皆さんに来ていただけるようお願いしたいということでございます。

その他展示ですけれども、考古博物館ではロビー展で「異形なる石器」といって展示を行っております。それから秀水美人画美術館では、今年浅井秀水さん没後 10 年の回顧展ということで、展示を行うことになります。

それから裏面ですけれども、一番下、「ゼロから始める古文書」というものですが、これは歴史研究所と共同で開催をする予定であります。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(10) 歴史研究所関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして (10)「歴史研究所関係報告事項」。

牧内歴史研究所副所長。

◎歴史研究所副所長（牧内 功） それでは本日お配りしました歴研ニュース 129 号をご覧くださいと思います。

表紙には昨年度 2 月に発行しました「飯田下伊那地域史料現状記録調査報告書 3」の「松下祐輔氏所蔵不二道等関係文書」について紹介しております。

この報告書は、江戸時代後期から明治初期に飯田市に在住しました富士信仰の一つであります不二道の指導者であった松下千代のご子孫から寄託された文書文の報告書になりますが、不二道以外にも家業で醸造業を営んでいた関係で、伊原五郎兵衛の書簡のほか、飯田の商工業に関する資料も保管されておりましたので、今回の書籍の発行にあわせてこの文書群の調査研究成果を広く知ってもらうために、4 月 20 日午後 1 時から市役所の 3 階にてワークショップを開催する予定でございます。

開いていただいた中のページですが、2 ページには今年度の市民研究候補の募集、歴史研究活動助成、飯田歴研賞 2024 の候補作品の募集について掲載しております。

3 ページの上段は、歴史研究所に在籍しました方のエッセイで、下段につきましては収蔵しております資料の紹介を載せてございます。

最終ページには、2 月末に発行しました年報の紹介と 4 月 27 日開催の定例研究会ほか、歴研ゼミの開催日時について掲載しております。

また時間があるときにお目通しいただければと思いますので、よろしくお願いします。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、以上の報告事項につきまして、前のものでも結構ございますが、何かご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

三浦教育委員さん。

◇教育委員（三浦弥生） はい、ありがとうございます。

図書の「コロポン」というこの企画、面白い企画だなと思って拝見しました。

以前、総合教育会議の読解力をいろいろ議論させていただいたときに、読書力ということと齋藤 孝さんの「読書力」の本の中から、「読書ってというのは、ただ好きな本ばかりゲーム本ばかりをいうものではなくて、やはり読書の力っていうものをつけるためには、普段読まないものもやはり力を使って読んで『あめ、面白かった』っていう体験が必要みたい」なところのお話あったかななんて、読書力の本の中からの引用でそんなお話もあったかなと思うんですが、こういったことで普段読まない本に触れたりだとか、そんなところで、子どもたちが提携してもらって、そういった新たな読書の力なんてつけていってもらえたらうれしいなあって思います。

こんな中で、またどういった反応だったかなっていうところもまた教えていただければなと思います。よろしく願いいたします。

◎中央図書館長（瀧本明子） ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） よろしいですかね。

さらにございますか。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

（11）今後の日程について

○教育長（熊谷邦千加） それでは（11）へまいります。「今後の日程について」。

松下学校教育課長補佐。

◎学校教育課長補佐兼総務係長（松下弘毅） 今後の日程についてであります。

来週4月15日月曜日午後2時半から第1回の飯田市校長会が市役所C棟3階の会議室で行われます。

その翌週4月22日月曜日ですけれども、午前9時半から第1回の飯田市教頭会、こちらも市役所C棟3階の会議室です。

5月16日の木曜日に5月の定例会をお願いします。定例会は3時から、また前段、協議会があるようでしたらご案内します。

ここに記載がありませんが、5月15日に飯伊市町村教育委員連絡会の総会、春期の研修が予定されています。こちらは2月にお伝えしてきているところではありますが、まだ通知

が到着していないのでここには掲載しておりませんが、ご予約をお願いいたします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） 今後の日程について、何かご質問ございますか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、お忙しい中で、4月は2回の校長会・教頭会、そしてその他の会議がございますが、お時間を頂戴しますけれども、よろしくお願いいたします。

日程第10 閉 会

○教育長（熊谷邦千加） 以上で、日程第10、閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

閉 会 午後 3時59分